

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ～ 平成33年 3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表							
評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P14.15(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H29度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 大ホール:63.5%(平均値比114% =63.5÷55.8%) 小ホール:58.8%(平均値比96% =58.8÷61.0%) 展示室A:60.2%(平均値比100% =60.2÷60.5%) 展示室B:74.1%(平均値比96% =74.1÷77.3%) 大会議室:51.4%(平均値比100% =51.4÷51.3%) 練習室1:55.1%(平均値比99% =55.1÷55.5%) 練習室2:57.9%(平均値比97% =57.9÷60.0%) 練習室3:50.8%(平均値比95% =50.8÷53.6%) 練習室4:29.4%(平均値比120% =29.4÷24.5%) 和室:41.0%(平均値比112% =41.0÷36.6%)	4点
			平均値比(101%)=利用率(58.6%)÷58.3%(上記(2)適用)				
	(1)利用状況(10点)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点	年次報告書P14.15(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H29度実績)÷(過去1年間実績平均値)) 大ホール:79,186人(平均値比240% =79,186人÷33,040人) 小ホール:25,782人(平均値比163% =25,782人÷15,792人) 展示室A:24,760人(平均値比94% =24,760人÷26,393人) 展示室B:20,443人(平均値比98% =20,443人÷20,864人) 大会議室:23,849人(平均値比90% =23,849人÷26,504人) 練習室1:9,340人(平均値比96% =9,340人÷9,737人) 練習室2:5,969人(平均値比90% =5,969人÷6,596人) 練習室3:5,450人(平均値比102% =5,450人÷5,345人) 練習室4:1,930人(平均値比112% =1,930人÷1,716人) 和室:3,919人(平均値比114% =3,919人÷3,439人)	4点
	②利用人数			平成28年度大小ホール工事により、利用できない期間があり、10月から3月までの利用人数での比較 平均値比=(平成29度10月～3月の利用人数)÷(平成28年度10月～3月の利用人数の平均値) 平均値比(100.3%)=利用人数(18,162人)÷18,105人			
(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	年次報告書P19～27文化事業一覧) ・市民文化祭 邦楽の部 来場者 828人 出演者405人(39団体) ・市民文化祭 合唱の部 来場者 450人 出演者284人(18団体) ・市民文化祭 器楽の部 来場者 355人 出演者133人(13団体) ・市民文化祭 ダンスの部 来場者 2,995人 出演者 1,011人(33団体) ・19音市～Music Jungle～ ～Autumn Market～ 500人	仕様書以上 14点	・「 <u>市民文化祭</u> 」については、ホールの大規模な修繕休業後の客離れが懸念されたが、 <u>前年度の実施より、出演団体、出演者、来場者共に大幅に増えた。</u> 【出演者比較】 邦楽の部:平成28年度 330人 → 平成29年度 405人 ダンスの部:平成28年度 655人 → 平成29年度 1,011人 器楽・合唱の部:平成28年度 405人 → 平成 29年度 639人 ・19音市は、ホワイエを特設ステージとした、 <u>気楽に音楽を楽しめる形が定着し、多くの方に足を運んでもらうことができた。</u>	14点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P19～28(文化事業一覧) ・鑑賞事業 佐渡裕指揮 東京シティフィルハーモニー管弦楽団、大黒摩季 ほか ・人間国宝による伝統芸能公演 野村万作・萬斎 狂言の世界2017 801人 ・多治見ワンコイン寄席 6回 1,004人 ・まるごと一日音楽の日inたじみ メインコンサート、O才からのうたごえコンサート ほか ・たじみde和芸 狂言コース 90人、講談コース 27人、落語コース 180人 ・みんなで作る市民劇「たじみ思い出ドラマ」演劇ワークショップ、戯曲講座、展示 ・ふらっとコンサート ロビーでの無料コンサート 8回 835人 ・スイートタイムミュージック 休憩時間にお茶とお菓子を楽しむ 4回 501人	期待以上 14点	・ホールの大規模な修繕休業後の施設に集客が期待される鑑賞事業や本物にふれる <u>伝統芸能</u> を取入れ、 <u>再び賑わいを戻すための事業を多く実施することができた。</u> ・500円で楽しめる落語は、利用の少ない平日の昼間のホールで、 <u>空日の活用と家にいる高齢者の外出機会の提供</u> となった。 ・まるごと一日音楽の日は、音楽祭を大きくリニューアルして、O才から高齢者まで幅広い世代に音楽を楽しんでいただくことができた。 ・「音楽」のジャンル以外の「 <u>伝統芸能</u> 」、「 <u>演劇</u> 」でも、市民参加型の事業を展開し、多くの方に参加してもらえた。	14点
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	年次報告書P29,30(維持管理業務) 定期清掃、日常清掃を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検		年次報告書P29、30(維持管理業務)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安・警備		機械警備業務及び保安警備を委託	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕		年次報告書P30～32(有償修理の内訳) 有償修理 全40件 総額 6,276,149円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・毎朝チェック表を使って施設内外の点検を行うとともに、「日常点検チェックシート」に基づいた点検(2週間に1回)を確実に行之、危険箇所の早期発見に努めている。 ・ <u>ここ数年の間に事故やトラブルが発生した箇所や、常に注意を払う必要がある箇所を拾い出した「危険発生・要注意箇所マップ」を作成。</u> (大ホール、小ホール・展示室、2階、屋外の4枚)全職員で危険箇所の情報を共有し、トラブル発生時に適切な対応ができるよう備えている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
	①文書管理			・ファイリングシステムにて適正文書管理に努めている。 ・文化会館建設当初の図面類・取扱説明書、その後の改修工事の図面類等の所在の <u>一覧化・データ化</u> に向けて準備作業を進めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	②環境への配慮	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・27年度末から電力の契約方法を見直し、従来の固定制(500kwに固定)から、デマンドに応じた変動制に変更。デマンドコントロールが有効化され、職員・管理員の節電意識の向上を図った結果、過去は毎年必ず400kwを超えていたピーク時のデマンド値が現在は300kw台以下で推移しており、節電とエネルギーコスト削減につながっている。 ・敷地内だけでなく国道沿い等周辺も含めた清掃を職員が毎朝行っている。また、 <u>高齢者の自主組織に依頼し、半日の屋外清掃(落ち葉、雑草、樹木、側溝清掃等)を週2回以上行い、周辺環境の美化に努めている。</u>	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			③バリアフリー			・段差解消や手すり設置などの施設改修を進め、誰もが利用しやすい施設づくりに努めている。中庭入口通路のコンクリート舗装による段差解消、ホール内への手すり設置。 ・サインの更新にあたってはユニバーサルデザインを使用し、誰でもわかりやすいサイン設置。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			・部屋ごとの備品一覧を独自に作成し、備品の入れ替えのたびに随時更新。また、机・椅子など種類・数量が多い備品については、 <u>写真入りの資料を作成して備品管理がしやすいよう努めている。</u> ・開館以前や開館当初からある古い備品を整理し、順次再整備、買い替えを行った。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・個人情報を含む書類等を鍵のかかるキャビネットに保管し、廃棄する際はシュレッダーで裁断、直接処分場へ持ち込み焼却処分を行っている。 ・原則として名簿等の個人情報のメール送信は禁止。送付する必要がある場合には必ず関係者しか閲覧できないロックをかけている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
						⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等への対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・第2駐車場南側の樹木の枯れ枝が駐車車両の上に落下し、車が損傷する事故が発生。 →施設賠償責任保険により車両修理費の賠償を行い、発生後すぐ、再発防止のために造園業者に委託し敷地内全体の樹木の再点検と枯れ枝の剪定を行った。また、職員による樹木の日常点検を強化するとともに、即座の対応ができるよう高枝剪定用の道具も購入。 ・コンサート来場者がロビーで突然倒れ、うずくまって苦しみ始めた。 →持病がある方のため119番通報をして救急隊を呼び、最終的に同伴の家族を探し出し病院に搬送。 ・大ホールの男子トイレ全体で汚水が逆流した。 →大ホール側の汚水管のマンホール(4ヶ所)の内部に樹木の根が張り、水や汚物の流れを妨げていたことが原因で、根の除去と汚水管全体の洗浄を行い解消。今後、定期的にマンホールの点検を行います。
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入179,633,264円÷支出176,740,527円＝102%	105%未満～100% 4点	適正である。	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・市民音楽団体の意見を聞く機会を作り、文化事業に反映してほしい。 →陶都楽友協会、たじみ音楽でまちづくり市民協議会との協議の場を設けて意見を直接伺い、可能なものは事業に反映。 <u>(大学連携、三大ピアノの活用等)</u> ・大ホールロビーのグランドピアノを、市民に自由に開放してほしい。 →「 <u>ロビーdeマイコンサート</u> 」を立ち上げ、当館の利用団体・活動団体に対してロビーおよびグランドピアノを開放する機会を設けた。(最大月1回) ・カラーコピーを使用したい。 →従来のモノクロコピー機をカラーコピー機に更新。 ・利用者からの意見を踏まえて貸出物品の整備を行い、利便性の向上を図った。	期待以上 9点	多様な要望に対して迅速かつ適切に対応している。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・敷地東側(大ホール裏側)の行き止まりの市道に文化会館利用者の車が迷い込み、隣接店舗の敷地内を通り抜けるため、店舗側が対応に苦慮している。 →「 <u>車両行き止まり</u> 」の表示看板を新たに作成し、 <u>多客時などに設置。</u> ・敷地境界の植栽の落ち葉や花が隣接地に落ちるため、対処の要望があった。 →造園業者に委託し、樹木の剪定を行った。また、花が咲く前の時期に、高い位置にある花の芽の摘み取りを職員で行っている。 ・大ホールでの貸館事業の際、近隣の民有地に無断駐車があり、警察が出勤する事態となった。 →興行会社主催による有料公演の際には、専門の警備会社に委託して駐車場誘導を行うよう、事前打ち合せの際に徹底。また、これまで無断駐車が発生した箇所には開演前にカラーコーンや看板を設置し、可能な限り再発防止に努めている。 ・駐車場が慢性的に不足している。 →原則会館主催事業の開催日に限り、 <u>駅北立体駐車場の2時間無料サービスを実施。</u> 広報誌や印刷物等で毎回記載することで、市民にかなり浸透。	期待以上 5点	・苦情に対し、迅速かつ適切に対処している。 ・駐車場不足に対する対処を自ら考え、実行に移した。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【施設運営】 ・インターネットを使ったチケット予約システムの導入を現在進め、今後本格的に運用を開始し、利用者の利便性向上を図っていきます。 ・来館者から、多治見駅から等周辺の道順がわかりにくいとの指摘があり、 <u>ホームページ・パンフレットの改善や周辺への看板設置など、誘導案内を強化したい。</u> ・高齢者の利用が増えているため、 <u>安全・バリアフリー対策を継続して</u> 行っていきます。 ・長年閉鎖したままとなっている旧屋外トイレの転用を検討したい。 ・展示室Aの貸館利用向上に向けた検討を行いたい。(半室利用の検討等) 【事業実施】 ・ <u>手軽に参加できる文化事業のジャンル・メニューを増やしていき、施設に繰り返し足を運ぶ人をさらに増やしていきたい。</u> ・音楽大学との協定締結を行った。実効性のある協定になるよう、 <u>具体的な連携事業の実施を進めて</u> 行きます。 【その他の成果】 ・ここ数年の間に事故やトラブルが発生した箇所や、常に注意を払う必要がある箇所を拾い出した「 <u>危険発生・要注意箇所マップ</u> 」を作成。 <u>全職員で危険個所の情報を共有し、トラブル発生時に適切な対応ができるよう備えている。</u>	期待以上 15点	・利用者の利便、安心安全を考慮した提案がなされている。 ・事業に活きる提案がなされている。	15点	

5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施されている	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計89点
							全体的な評価 ・舞台機構の改修が終わり、その機を逃さず、精力的に、事業内容も大規模な公演から、無料コンサートまでバランスよく実施し、多くの方に足を運んでいただけた。 ・常に新たな発想で、事業運営と施設管理がなされている。 ・「危険発生・要注意箇所マップ」を作成し、維持管理に役立て、職員が共有している。 ・施設管理について(修繕、施設整備含む)安心、安全、安定を感じる。 ・利用者の要望、苦情に対し、迅速かつ適正に処理している。 ・全体的な施設の管理運営について、概ね良好に行われている。	極めて良好